

## 「海の安全教室」の進め方（例）

### 1 朗読音源についての検討

朗読音源には、題名「ともだち」「あの日、」「夏休み」の3話ありますので、学びのポイントをご参考に使用する音源を選択してください。

「ともだち」→主人公が小学校低学年のストーリー

「あの日、」→主人公が小学校高学年のストーリー

「夏休み」→主人公が中学生のストーリー

### 2 児童等に対する事前説明等

事前説明の前に別添ワークシートを配布してから、

- ・ 「今から海で事故に遭わないためにはどうすれば良いかということについて考えてみたいと思います」
- ・ 「これから、海浜事故例のお話を聞いてもらいますので、最後まで静かに聞いてください」
- ・ 「聞き終わった後で、どうすれば事故に遭わなかったか、最悪の事態を回避するにはどうすれば良かったのかを話し合ってもらいますので、しっかり聞いてください」等の説明をお願いします。

### 3 朗読音源再生（ストーリーのリーフレットはまだ配布しない）

1で選択した音源を聞かせます。

（各再生時間5～7分程度）

### 4 グループ討議

(1) 児童等に対し、「このお話の中で注意すれば良かったこと、自分だったらこのようにするなどについて、みなさんで話し合ってみてください」と投げかけてから、話し合いを始めてください。

(2) グループ代表者による意見発表

ワークシートには、児童等各自の意見及びグループの意見を記入

### 5 海上安全教室の学習のまとめ（振り返り）

学びのポイントを基に振り返り学習を行ってください。

（各児童等には、まとめをワークシートに記入させてください。）

※これで学校での海上安全教室は終了となります。本安全教室終了後にストーリーのリーフレットを配布してください。

## 6 児童等と保護者による話し合い（振り返り）

各児童等は、学校で記入したワークシートとストーリーのリーフレットを自宅に持ち帰り、事例について、話し合ってもらい、今後、保護者として注意すべきこと、子どもに対して注意していきたいことなどの意見を記入後、学校に提出（任意）してもらってください。

## 7 ワークシートを使用する効果及び活用

- (1) ワークシートの記載内容から、児童等の安全意識レベルの確認、本安全教室における理解度が読みとれ、保護者記入欄から、保護者の考え方も確認ができます。
- (2) 学校に提出されたワークシートから児童等の安全意識レベルを知ることができ、学校での安全教育に利活用できます。

お問い合わせ先：秋田海上保安部交通課

〒011-0945

秋田県秋田市土崎港西 1-7-35

秋田港湾合同庁舎 3階

TEL 018-845-1624